

# 平成 26 年度 事業報告書

## 1. 助成事業

平成 26 年度の助成事業は、研究費助成、海外渡航費助成および学術研究資金助成の公募を行い、総額 1,640 万円を実施しました。平成 26 年度公募の概況は、以下の通りです。

### (1) 学術研究費助成事業

#### ① 研究費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する研究費の助成を目的とした研究費助成事業は、平成 26 年 3 月 1 日から 4 月 15 日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。また、平成 26 年度は追加助成があり、平成 26 年 9 月 22 日から 10 月 20 日まで追加募集を行いました。

その結果、66 件の応募があり、選考委員会において、以下の 45 件の研究に対して助成を行うことを決定し、1,360 万円の助成を実施しました。

- 1 被告人の主体的訴訟参加の意義について  
岡山大学 大学院 社会文化科学研究科 准教授 原田 和往 150 千円
- 2 オーロラキナーゼ A が制御している遺伝子転写調節ネットワークの網羅的解析  
岡山大学 大学院 医歯薬学総合研究科 准教授 片山 博志 500 千円
- 3 独自に開発した超高効率遺伝子発現プラスミドベクターの抗体大量産生系への応用を目指した基礎研究  
岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 准教授 阪口 政清 300 千円
- 4 自家骨に匹敵する早期骨修復能を備えた新規リン酸カルシウム人口骨の創製  
岡山大学 大学院 自然科学研究科 助教 小西 敏功 350 千円
- 5 空気圧ゴム人口筋を用いた農作業支援用簡易型アシストロボットの機構開発  
岡山大学 大学院 自然科学研究科 助教 佐々木 大輔 400 千円
- 6 ニトロアルケンへの  $\alpha$ -アミノ酸エステルのマイケル付加反応を鍵工程とする置換ピペラジノンの新規効率的合成法の開発  
岡山大学 大学院 自然科学研究科 助教 工藤 孝幸 400 千円
- 7 新規血管新生阻害剤の合成と口腔癌および炎症性疾患領域における阻害効果の検討  
岡山大学 大学院 自然科学研究科 助教 萬代 大樹 300 千円
- 8 電気的な反応点制御に基づいた集積的カップリング反応による有機半導体分子の探索  
岡山大学 大学院 自然科学研究科 准教授 光藤 耕一 300 千円
- 9 江戸期の巨石樋門・倉水門の撤去に関わる記録保存および文献調査  
岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 准教授 樋口 輝久 200 千円
- 10 河川堤防の安全な維持管理のための総合的照査方法の確立  
岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 助教 金 兼洙 500 千円
- 11 国内希少野生動植物種スイゲンゼニタナゴの繁殖生態解明と保全技術の開発  
岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 准教授 中田 和義 350 千円
- 12 GPGPU による平面 2 次元浅水流モデルの高速演算に関する研究  
岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 准教授 吉田 圭介 400 千円
- 13 地質統計学と論理モデルに基づいた地質モデリングに関する研究  
岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 助教 珠玖 隆行 300 千円
- 14 分裂促進因子活性化タンパク質キナーゼ制御を分子基盤とした新規抗アレルギー性食品因子に関する研究  
岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 准教授 中村 宜督 300 千円

- |    |   |        |
|----|---|--------|
| 15 | 岡山市西川緑道公園における持続的なまちづくりに向けた実践研究<br>ーアメリカ・ポートランド市のB I Dと市民参加の国際比較ー<br>岡山大学 地域総合研究センター 助教 岩淵 泰 | 350 千円 |
| 16 | オオムギの形質転換に必要なゲノム領域の同定<br>岡山大学 資源植物科学研究所 助教 久野 裕   | 300 千円 |
| 17 | 植物の生殖細胞におけるDNAメチル化動態に関する研究<br>岡山大学 資源植物科学研究所 助教 池田 陽子                                       | 300 千円 |
| 18 | もち麦の品質向上を目指した植物色素合成メカニズムの解明<br>岡山大学 資源植物科学研究所 非常勤研究員 氷見 英子                                  | 250 千円 |
| 19 | 小型半導体チップ型センサーによる土中水分量の計測手法の開発<br>岡山大学 廃棄物マネジメント研究センター 准教授 小松 満                              | 350 千円 |
| 20 | 自然薯のプロスタグランジンE2 合成系抑制による抗炎症・抗腫瘍効果<br>岡山県立大学 保健福祉学部 准教授 山本 登志子                               | 160 千円 |
| 21 | 「食品素材や化粧品素材」としての「高機能化ポリフェノール誘導体」の<br>環境に優しい「次世代型酵素的合成システム」の開発<br>岡山県立大学 保健福祉学部 准教授 中島 伸佳    | 150 千円 |
| 22 | 上肢の運動制御における筋機能に着目した左右差に関する研究<br>岡山県立大学 情報工学部 助教 大山 剛史                                       | 200 千円 |
| 23 | 小中学生の学力向上に貢献する運動・スポーツの条件に関する研究<br>～持久的スポーツ競技と学習の集中力の関連性の検証～<br>岡山県立大学 情報工学部 准教授 綾部 誠也       | 200 千円 |
| 24 | 積層型金属スリットアレイの光学的性質とその応用<br>岡山県立大学 情報工学部 助教 徳田 安紀  | 200 千円 |
| 25 | エネルギー保存を考慮した超高画質画像変換手法とその応用に関する研究<br>岡山県立大学 情報工学部 准教授 山内 仁                                  | 180 千円 |
| 26 | 実感を伴う水害用デジタル避難ガイドの開発<br>岡山県立大学 デザイン学部 講師 齋藤 美絵子   | 160 千円 |
| 27 | 建築家ジェフリー・バワの建築言語に関する研究<br>岡山県立大学 デザイン学部 教授 岩本 弘光  | 150 千円 |
| 28 | がん抑制遺伝子REIC/Dkk-3 による表皮幹細胞のストレス応答制御機構の解明<br>岡山理科大学 理学部 准教授 片岡 健                             | 300 千円 |
| 29 | 高効率な発光を目指した有機蛍光材料の開発<br>岡山理科大学 理学部 講師 岩永 哲夫   | 200 千円 |
| 30 | 情景画像と大規模点群の対応付けによる拡張現実指向GISの開発<br>岡山理科大学 工学部 教授 島田 英之                                       | 500 千円 |
| 31 | 航空レーザー測量データに基づいた大規模崩壊危険度評価手法の開発<br>岡山理科大学 生物地球学部 准教授 佐藤 丈晴                                  | 300 千円 |
| 32 | 自然科学的手法により備前焼のルーツを探るー邑久窯跡群の発掘調査からー<br>岡山理科大学 生物地球学部 教授 白石 純                                 | 200 千円 |
| 33 | 有害野生獣多頭捕獲檻のゲート閉鎖用遠隔制御装置の開発<br>津山工業高等専門学校 電子制御工学科 教授 鳥家 秀昭                                   | 330 千円 |
| 34 | 非同期式直列演算器に基づいた超低消費電力デジタル補聴器の開発<br>川崎医療福祉大学 医療技術学部 助教 近藤 真史                                  | 320 千円 |
| 35 | ICFを活用した在宅重症児(者)の生活実態・社会資源の調査<br>川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部 助教 三田 岳彦                             | 350 千円 |
| 36 | HTLV-1 由来のHBZ 蛋白を標的とした新規HTLV-1 関連疾患の発症予防・治療法に関する研究<br>川崎医科大学 助教 塩浜 康雄                       | 200 千円 |
| 37 | 創薬基盤のための後期エンドソーム内リン脂質ドメインの機能解析に関する研究<br>就実大学 薬学部 准教授 松尾 浩民                                  | 400 千円 |

38	高脂肪食摂取による肥満の形成は Gas6 阻害により制御できるか？ 倉敷芸術科学大学 生命科学部 講師 椎葉 大輔	300 千円
39	ソーシャルビジネスの評価の在り方ーインドの事例から社会開発へのインパクト測定をする 吉備国際大学 外国語学部 教授 橋本 由紀子	200 千円
40	油彩画、日本画、染色品に使用される色材の簡易分析法の開発 吉備国際大学 外国語学部 准教授 大下 浩司	300 千円
41	パルミトオレイン酸誘導性心筋ミトコンドリア機能障害と性差の関連性 吉備国際大学 保健福祉研究所 准研究員 小柳 えり	200 千円
42	アケビ由来発酵酵素液中に含まれる微生物の同定と機能性の検討 美作大学 短期大学部 教授 桑守 正範	450 千円
43	糖尿病性腎症モデルマウスを用いた Sfrp1 の病態的意義の解明 重井医学研究所 主任研究員 松山 誠	350 千円
44	3D レーザー測量を利用した斜面崩壊危険箇所抽出の開発 岡山大学 理学部 教授 鈴木 茂之	650 千円
45	オープンソースライセンスでの 3D データ活用に関する調査研究 岡山理科大学 総合情報学部 講師 山根 信二	350 千円

## ②海外渡航費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する海外渡航費の助成を目的とした海外渡航費助成事業は、平成 26 年 3 月 1 日から 4 月 15 日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、10 件の応募があり、選考委員会において、以下の 7 件の研究に対して助成を行うことを決定し、100 万円の助成を実施しました。

1	二官能性ポルフィリン多量体触媒を用いた二酸化炭素の固定化反応 岡山大学 大学院 自然科学研究科 助教 前田 千尋	150 千円
2	水中で超撥油性を示す陽極酸化チタンナノチューブ 岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 助教 西本 俊介	150 千円
3	イオン液体のオゾン分解に関する国際会議発表と共同研究推進 岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 准教授 永禮 英明	150 千円
4	ウシ卵管における初期胚発育を促進するアクチビン A の分泌制御メカニズム 岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 助教 山本 ゆき	150 千円
5	宇宙環境で生育する植物の ROS 遺伝子ネットワークの網羅的解析 岡山大学 資源植物科学研究所 准教授 杉本 学	100 千円
6	音声対話における熱伝導方程式に基づく場の盛り上がり推定モデルの開発 岡山県立大学 情報工学部 助教 瀬島 吉裕	180 千円
7	数値気象モデルを用いた都市ヒートアイランド対策の熱中症リスク低減効果の予測評価 岡山理科大学 生物地球学部 准教授 大橋 唯太	120 千円

## (2) 学術研究資金助成事業

岡山県内の研究機関に所属する私費留学の外国人研究者及び研究生に対する研究資金の助成を目的とした学術研究資金助成事業は、平成 26 年 4 月 1 日から 5 月 15 日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、4 名の応募があり、選考委員会において、以下の 3 名の私費留学生に対して、総額 180 万円の助成を実施しました。

1	遅延耐性の大規模無線LANの実現 岡山大学 大学院 自然科学研究科 キム ボンス (韓国)	600 千円
2	ネパールの看護の質の向上に関する研究 岡山県立大学 大学院 シュレスタ ジョシ アルチャナ (ネパール)	600 千円
3	マルチキャストを使ったマルチメディアシステムの開発と評価 岡山理科大学 大学院 コウ コウイ (中国)	600 千円

## 2. 研究者交流事業

定款第4条第1項第3号に掲げる事業は、次のとおり総額682千円を実施しました。

### (1) 交流会事業

この事業は、助成を受ける研究者及び研究生とその関係者の交流並びに情報交換を目的に、岡山全日空ホテルにて立食パーティー形式の交流会を開催しました。

終始なごやかな雰囲気での交流がなされ、事業費としては、629千円を支出しました。

### (2) 研究発表会事業

この事業は、助成を受ける研究活動における最先端技術の開発状況を研究者が自ら発表することにより、研究成果の普及を促し、各分野における技術開発の推進及び発展に寄与することを目的に行うものです。平成26年度は、平成27年1月19日に岡山全日空ホテルで開催しました。当日は72名が受講し、熱心にメモをとる姿や様々な質問がなされ、最先端技術への関心の深さが伺えました。

なお、研究発表者は以下の5名で、事業費としては、52千円を支出しました。

- (平成25年度学術研究費助成)  
「岡山県における社会基盤施設の災害復旧に関する史的研究  
－昭和9年 室戸台風の災害復旧橋梁を中心として－」  
岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 准教授 樋口 輝久
- (平成25年度学術研究費助成)  
「岡山市中心市街地における来街者回遊行動特性に関する研究」  
岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 助教 氏原 岳人
- (平成25年度学術研究費助成)  
「緊張を緩和する身体的ビデオコミュニケーションシステムの研究開発」  
岡山県立大学 情報工学部 准教授 石井 裕
- (平成25年度学術研究費助成)  
「巨大地震の被災地などで非常時に手軽に使えるSE発電の研究」  
津山工業高等専門学校 電子制御工学科 教授 鳥家 秀昭
- (民間が取り組む技術紹介)  
「航空レーザー測量を利用した地形判読および道路のり面点検への活用事例」  
株式会社ウエスコ 地盤調査事業部 平川 武

### (3) 事業報告書の作成

平成26年度の事業状況及び学術研究費助成の研究成果報告書をまとめた事業報告書150部を作成しました。

### 3. 処務の概要

#### (1) 役員に関する事項

##### 理 事

(平成27年3月31日現在)

役職名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	現職名	備考
理事長	山地 弘	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 代表取締役社長	
理 事	千葉 喬三	非常勤	無	就実学園 理事長	
理 事	波田 善夫	非常勤	無	岡山理科大学 学長	
理 事	大崎 紘一	非常勤	無	岡山商科大学 副学長	
理 事	沖 陽子	非常勤	無	岡山大学 大学院 環境生命学研究科 教授	
常務理事	大倉 一夫	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 取締役経営管理本部長	

##### 監 事

(平成27年3月31日現在)

役職名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	現職名	備考
監 事	福原 一義	非常勤	無	福原一義公認会計士 事務所 公認会計士	
監 事	普門 仁利	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 経営管理本部総務部長	

##### 評 議 員

(平成27年3月31日現在)

役職名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	現職名	備考
評議員長	松原 利直	非常勤	無	株式会社ウエスコ 代表取締役社長	
評議員	藤原 健史	非常勤	無	岡山大学 大学院 環境学研究科 教授	
評議員	富田 栄二	非常勤	無	岡山大学 大学院 自然科学研究科 教授	
評議員	辻 英明	非常勤	無	岡山県立大学 学長	
評議員	泉 史博	非常勤	無	株式会社中国銀行 取締役会長	
評議員	倉本 英雄	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 監査役	

#### (2) 職員に関する事項

(平成27年3月31日現在)

職 名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	担当事務	現職名	備考
職 員	永山 彰	非常勤	無	総務全般	(株)ウエスコ 社員	
職 員	山本 祐	非常勤	無	総務全般	(株)ウエスコ 社員	

### (3) 役員会等に関する事項

#### ①理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 26 年 6 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"><li>平成 25 年度事業報告及び付属明細書の承認の件</li><li>平成 25 年度貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの付属明細書の承認の件</li><li>平成 26 年度助成者決定の報告の件</li><li>銀行借入額決定の件</li></ul>	承認可決された 承認可決された 事務局より報告した 事務局より報告した
平成 26 年 9 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"><li>平成 26 年収支予算の修正の件</li></ul>	承認可決された
平成 26 年 10 月 23 日	<ul style="list-style-type: none"><li>株式会社ウエスコホールディングス定時株主総会における議決権行使の件</li></ul>	承認可決された
平成 27 年 1 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"><li>平成 27 年度事業計画承認の件</li><li>平成 27 年度収支予算承認の件</li><li>事務委託契約一部変更および賃貸借契約の件</li><li>銀行借入の件</li></ul>	承認可決された 承認可決された 承認可決された 承認可決された

#### ②評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 26 年 6 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"><li>平成 25 年度事業報告及び付属明細書報告の件</li><li>平成 25 年度貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの付属明細書報告の件</li><li>平成 26 年度助成者決定の報告の件</li><li>銀行借入額決定の件</li></ul>	事務局より報告した 事務局より報告した 事務局より報告した 事務局より報告した
平成 26 年 7 月 31 日	<ul style="list-style-type: none"><li>平成 25 年度事業報告・貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの付属明細書の承認の件</li></ul>	承認可決された
平成 27 年 1 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"><li>平成 27 年度事業計画承認の件</li><li>平成 27 年度収支予算承認の件</li><li>事務委託契約一部変更および賃貸借契約の件</li><li>銀行借入の件</li></ul>	承認可決された 承認可決された 承認可決された 承認可決された

### (4) 主務官庁等の許可、認可及び承認に関する事項

該当なし

### (5) 寄付金に関する事項

寄付目的	寄 付 者	領収金額(円)	備 考(受入日)
運用財産	アートコーポレーション株式会社	20,000	平成 26 年 4 月 10 日
運用財産	コクヨマーケティング株式会社	20,000	平成 26 年 4 月 21 日
運用財産	富士ゼロックス株式会社	10,000	平成 26 年 4 月 25 日
	合 計	50,000	

**(6) 契約に関する事項**

該当なし

**(7) 主務官庁の指示に関する事項**

該当なし

**(8) 税法上の収益事業の有無**

該当なし

**(9) その他の注意事項**

該当なし

**4. 事業報告書の附属明細書**

平成 27 年 3 月期における重要事項は無く、期末における事業報告書の附属明細書に記載すべき事項はありません。

## 貸借対照表

平成27年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度 (H27/3/31)	前 年 度 (H26/3/31)	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,390,524	8,203,715	△ 3,813,191
未収金	0	0	0
流動資産合計	4,390,524	8,203,715	△ 3,813,191
2. 固定資産			
基本財産			
投資有価証券	724,598,500	432,666,900	291,931,600
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	744,598,500	452,666,900	291,931,600
固定資産合計	744,598,500	452,666,900	291,931,600
資産合計	748,989,024	460,870,615	288,118,409
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	446,600	△ 446,600
流動負債合計	0	446,600	△ 446,600
負債合計	0	446,600	△ 446,600
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受贈投資有価証券	694,000,000	402,000,000	292,000,000
投資有価証券	30,598,500	30,666,900	△ 68,400
受贈定期預金	20,000,000	20,000,000	0
指定正味財産合計	744,598,500	452,666,900	291,931,600
2. 一般正味財産	4,390,524	7,802,410	△ 3,411,886
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	748,989,024	460,469,310	288,519,714
負債及び正味財産合計	748,989,024	460,915,910	288,073,114



## 正味財産増減計算書

平成26年4月1日 から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度 (H26.4.1-H27.3.31)	昨年度 (H25.4.1-H26.3.31)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産有価証券受取利息	522,000	261,000	261,000
基本財産受取利息	6,186	0	6,186
基本財産受取配当金	14,000,000	12,000,000	2,000,000
基本財産運用益計	14,528,186	12,261,000	2,267,186
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	0	0	0
特定資産運用益計	0	0	0
受取寄付金	50,000	50,000	0
受取寄付金計	50,000	50,000	0
④ 雑収益			0
海外渡航事業費返金	0	0	0
受取利息	1,070	2,658	△ 1,588
雑収益	0	70,200	△ 70,200
雑収益計	1,070	72,858	△ 71,788
経常収益計	14,579,256	12,383,858	2,195,398
(2) 経常費用			0
① 事業費			0
支払助成金	16,400,000	10,420,000	5,980,000
印刷費	51,408	350,000	△ 298,592
会議費	682,219	338,477	343,742
旅費交通費	0	0	0
会場費	0	0	0
通信費	38,532	32,384	6,148
消耗品費	39,133	482,663	△ 443,530
事業費計	17,211,292	11,623,524	5,587,768
② 管理費			0
事務委託費	600,000	600,000	0
会議費	74,562	51,826	22,736
旅費交通費	0	1,000	△ 1,000
通信費	14,598	99,951	△ 85,353
租税公課	0	5,160	△ 5,160
印刷費	0	0	0
事務手数料	2,330	36,572	△ 34,242
支払利息	17,113	11,120	5,993
消耗品費	25,952	0	25,952
雑費	0	0	0
管理費計	734,555	805,629	△ 71,074
経常費用計	17,945,847	12,429,153	5,516,694
当期経常増減額	△ 3,366,591	△ 45,295	△ 3,321,296
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0		0
(2) 経常外費用	0		0
(1) 経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 3,366,591	△ 45,295	△ 3,321,296
当期一般正味財産増減額	△ 3,366,591	△ 45,295	△ 3,321,296
一般正味財産期首残高	7,757,115	7,802,410	△ 45,295
一般正味財産期末残高	4,390,524	7,757,115	△ 3,366,591
II 指定正味財産増減の部			0
基本財産評価益	292,000,000	666,900	291,333,100
基本財産評価損	68,400	106,000,000	△ 105,931,600
当期指定正味財産増減額	291,931,600	△ 105,333,100	397,264,700
指定正味財産期首残高	452,666,900	558,000,000	△ 105,333,100
指定正味財産期末残高	744,598,500	452,666,900	291,931,600
III 正味財産期末残高	748,989,024	460,424,015	288,565,009

# 正味財産増減計算書内訳表

平成26年4月1日 から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	平成26年度 (H26.4.1-H27.3.31)			
	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産有価証券受取利息	522,000			522,000
基本財産受取利息	6,186			6,186
基本財産受取配当金	13,300,000	700,000		14,000,000
基本財産運用益計	13,828,186	700,000		14,528,186
② 特定資産運用益				0
特定資産受取利息	0			0
特定資産運用益計	0			0
受取寄付金	50,000			50,000
受取寄付金計	50,000	0		50,000
④ 雑収益				0
海外渡航事業費返金				0
受取利息	1,070			1,070
雑収益				0
雑収益計	1,070	0		1,070
経常収益計	13,879,256	700,000		14,579,256
(2) 経常費用				0
① 事業費				0
支払助成金	16,400,000			16,400,000
印刷費	51,408			51,408
会議費	682,219			682,219
旅費交通費	0			0
消耗品費	39,133			39,133
会場費	0			0
通信費	38,532			38,532
事業費計	17,211,292	0		17,211,292
② 管理費				0
事務委託費		600,000		600,000
会議費		74,562		74,562
旅費交通費		0		0
通信費		14,598		14,598
租税公課		0		0
消耗品費		25,952		25,952
印刷費		0		0
事務手数料		2,330		2,330
支払利息		17,113		17,113
雑費		0		0
管理費計	0	734,555		734,555
経常費用計	17,211,292	734,555		17,945,847
当期経常増減額	△ 3,332,036	△ 34,555		△ 3,366,591
2. 経常外増減の部				0
(1) 経常外収益				0
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				0
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 3,332,036	△ 34,555		△ 3,366,591
当期一般正味財産増減額	△ 3,332,036	△ 34,555		△ 3,366,591
一般正味財産期首残高	7,915,373	△ 158,258		7,757,115
一般正味財産期末残高	4,583,337	△ 192,813		4,390,524
II 指定正味財産増減の部				0
基本財産評価益	277,400,000	14,600,000		292,000,000
基本財産評価損	68,400			68,400
当期指定正味財産増減額	277,331,600	14,600,000		291,931,600
指定正味財産期首残高	432,566,900	20,100,000		452,666,900
指定正味財産期末残高	709,898,500	34,700,000		744,598,500
III 正味財産期末残高	714,481,837	34,507,187		748,989,024

## 財務諸表に対する注記

平成 26年4月1日 から平成27年3月31日 まで

### 1. 継続事業の前提に関する注記

該当はありません。

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債権並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券は、期末日の市場価格等に基づく時価法によります。

#### (2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式を採用しています。

### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,000,000	20,000,000	20,000,000	20,000,000
投資有価証券	432,666,900	292,000,000	68,400	724,598,500
小計	452,666,900	312,000,000	20,068,400	744,598,500
特定資産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	452,666,900	312,000,000	20,068,400	744,598,500

(注) 投資有価証券の当期増減額は、前事業年度末における帳簿価額と時価の差額(評価損益)を表示しております。

### 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	20,000,000	20,000,000	0	-
投資有価証券	724,598,500	724,598,500	0	-
小計	744,598,500	744,598,500	0	-
特定資産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	744,598,500	744,598,500	0	0

### 6. 担保に供している資産

該当はありません。

### 7. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

該当はありません。

### 8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当はありません。

### 9. 重要な後発事象

該当はありません。

### 10. 関連当事者との取引の内容

該当はありません。

### 11. その他

該当はありません。

# 財産目録

平成27年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金			
普通預金	山陰合同銀行/岡山支店	運転資金として	77,937
普通預金	中国銀行/奉還町支店	"	4,312,587
現金預金合計			4,390,524
その他流動資産	その他流動資産合計		0
流動資産合計			4,390,524
<b>2. 固定資産</b>			
基本財産			
投資有価証券	ソフトバンク株式会社社債	公益目的保有財産であり、運用益を助成事業の財源として使用している	30,598,500
定期預金	中国銀行/奉還町支店	"	20,000,000
投資有価証券	株式会社ウエスコホールディングス株式2,000千株 内、618千株について貸株契約を締結している	公益目的保有財産であり、運用益の95%を研究助成事業等の財源として使用し、残り5%は管理費等の財源として使用している。 当該株式は、貸借銘柄であり日本証券金融株式会社との間に貸株契約を締結している。	694,000,000
基本財産合計			744,598,500
固定資産合計			744,598,500
資産合計			748,989,024
<b>1. 流動負債</b>			0
流動負債合計			0
負債合計			0
正味財産			748,989,024